

慢性腎臓病(CKD)の患者さまの試料・情報を用いた医学系臨床研究に対するご協力のお願い(2020,3,11)

研究責任者:今村吉彦(日産厚生会玉川病院 腎臓内科)

このたび当院では、慢性腎臓病(CKD)に関するご病気で入院・通院された患者さまの試料・情報を用いた下記の医学系臨床研究を、当院倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さまへの新たな負担は一切ありません。また患者さまのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない方は、その旨を「6.お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1.対象となる方

2012年1月1日より2020年2月29日までの間に当院腎臓内科・透析センターにて慢性腎臓病(CKD)として外来および入院治療(透析治療)を受けられた患者さま

2.研究課題名

多職種による外来 CKD チーム医療の透析導入に及ぼす影響

3.本研究の意義、目的、方法

新たな国民病といわれる慢性腎臓病(CKD)治療の目的は、末期腎臓病への進展抑制と心血管疾患の発症予防にあり、その管理には血圧・血糖・脂質・尿酸・貧血などのいわゆる集学的治療が必須ですが、そのためには薬物療法とともに多職種による包括的指導(チーム医療)が重要です。この CKD チーム医療の効果としては腎・生命予後や貧血の改善、透析への計画導入率の向上や腹膜透析の選択率の向上、入院回数や期間の短縮などが報告されています。

当院でも2010年から腎臓内科において医師、看護師、管理栄養士、薬剤師がチームを構成し、個々の CKD 患者さまに包括的指導を行っており、本研究では多職種によるチーム医療の透析導入に対する遅延効果の有無および緊急透析の導入率や腹膜透析の選択率などの検討を行うための情報を得ることを目的とします。

CKD チーム医療について:定期採血、採尿検査と医師の診察、看護師の生活指導、管理栄養士の栄養指導、薬剤師の服薬指導を同日に各約 30 分かけて行い、原則 1 クール 4 回シリーズで施行いたします(指導スケジュールは別紙参照)。

4.協力をお願いする内容

カルテに記載のある診療記録、検査データを利用いたします。
年齢、性別、診断名、CKD ステージ、処方内容、血液・尿・生理学的検査所見、転帰などです。

5.個人情報の取り扱い

利用する情報から氏名や住所など患者さまを直接特定できる個人情報は削除いたします(匿名化)。また研究成果は学会などで発表を予定していますが、その際にも患者さまを特定できる個人情報は利用いたしません。

6.お問い合わせ先

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。また本研究の対象となる方またはその代理人(ご本人より本研究に関する委任を受けた方など)より、試料・情報の利用や他の研究機関への提供の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

連絡先:

東京都世田谷区瀬田 4-8-1

日産厚生会玉川病院 腎臓内科 部長 今村吉彦

TEL 03-3700-1151 FAX 03-3700-3824